

## 小笠原諸島への航空路開設に関する経緯について

### 1 これまでの経緯

- 兄島、時雨山周辺域での空港計画は、周辺環境への影響等の理由により実現せず
- 4航空路案の検討を開始（平成13年）  
※4航空路案 ⇒ 硫黄島活用案、水上航空機案、洲崎地区活用案、聳島案
- 国土交通省は、平成18年5月に小笠原諸島振興開発基本方針（平成16～20年度）を変更

・東京から南に約1,000km離れた遠隔外海離島である小笠原諸島にとって、高速交通アクセス手段の確保は喫緊の課題である。

・航空路については、これまでの経緯及び検討を踏まえ、地元の意見と自然保護に十分配慮しつつ、高速移動手段を利用した安心して暮らせる生活環境の確保と産業振興を図るため、幅広く検討を進める。

・今後、検討の過程においては、その状況を整理し、情報公開を行うとともに、関係者間における円滑な合意形成を図る。（抜粋）

- 東京都は、平成18年11月に基本方針の変更を踏まえ小笠原諸島振興開発計画（平成16～20年度）を変更

・本土との交通アクセスを改善するため、自然環境との調和に十分配慮した航空路について将来の開設を目指し検討を進める。

・この検討を行うため、村民合意を前提に、東京都と小笠原村で協議会を設置し、情報公開を行いながら、関係者間の円滑な合意形成を図り、PIを実施する。

・東京都は、自然環境への影響、費用対効果、運航採算性、安全性等について総合的に調査・検討を行い、PIに反映させる。（抜粋）

### 2 最近の取り組み

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 平成19年11月 | 村が村民に対し、航空路説明会を実施                 |
| 12月      | 村が航空路の必要性について村民アンケートを実施           |
| 平成20年1月  | 村民アンケートの結果、回答した村民の7割強が航空路を必要と意思表示 |
| 1月       | 村から都に対し、協議会の設置を要請                 |
| 2月       | 都と村で「小笠原航空路協議会」を設置                |
| 4月       | 第1回小笠原航空路協議会を開催                   |
| 10月      | 第2回小笠原航空路協議会を開催                   |
|          | 小笠原航空路協議会が「小笠原航空路PI評価委員会」を設置      |
| 12月      | 第1回小笠原航空路PI評価委員会を開催               |
| 平成21年3月  | 第3回小笠原航空路協議会を開催                   |
| 5月       | 第2回小笠原航空路PI評価委員会を開催               |